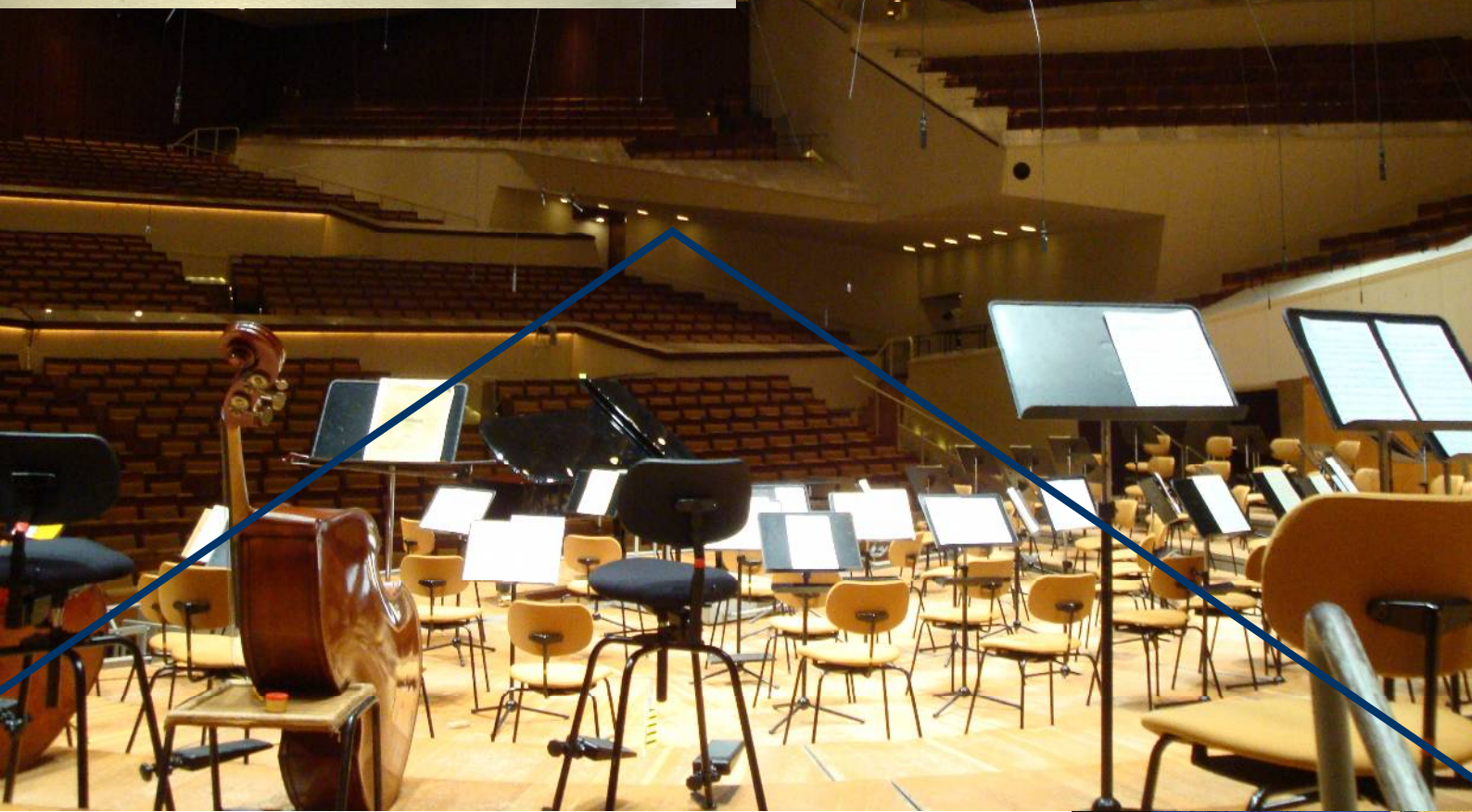


BERLINER
PHILHARMONIE

ベルリン・フィルハーモニー



1963年にベルリン・フィルとカラヤンの指揮で柿落としされたこのホールは、近代的雰囲気と圧倒的な音響を誇り、世界3大オーケストラ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地として知られている。

様々な工夫を凝らし、360度の客席にすべて最高の音響が響き渡るように作られたホールの残響時間は1.8秒～2.0秒で、伝統的な他のヨーロッパのホールとは性質を異にし、近代ホールの傑作として絶賛されている。客席総数は2,218席。

一般にカラヤンホールと呼ばれている大ホールは、現地では「フィルハーモニー (Philharmonie)」と呼ばれ、別棟には「室内楽ホール (kammermusiksaal)」と呼ばれる小ホールがある。

